

『旭ふる里まつり 2022』の開催について

いつまでも変わらない「旭らしさ」を住民とともに伝え、さらなる産業振興や幅広い親睦交流を図ることを目的に、37回目となる旭町最大のイベント「旭ふる里まつり 2022」が3年ぶりに開催されました。

当日は、心配された天候もイベント開催中は何とか持ちこたえ、地域内外から多くの方にご来場いただき、歌謡ショーや石見神楽、各展示コーナーや飲食コーナーなど賑わいをみせました。

記

- 1 **開催日時** 令和4年11月13日（日） 9時30分～14時50分
- 2 **会場** 旭支所周辺、市民体育館、旭保健センター
- 3 **来場者数** 約2,000人
- 4 **出展者数** 29団体（作品展示、飲食物の販売など）
- 5 **ステージ** あさひ子ども園ダンス、旭中吹奏楽部演奏、山下時子ショー、キッズダンス、ASAHI スカイツリー（木の積上げ競争）など
- 6 **特徴** 農林産物品評会（115点）、大根コンテスト（22点）、島根あさひ社会復帰促進センターによる矯正展（展示即売等）、浜田手作り甲冑愛好会による展示、家古屋山タイムカプセルお披露目等



（裏面へ）

旭ふる里まつり出展者アンケート及び実行委員会への意見等

《出展者からの感想・意見》

□ふる里まつり全般に対して

- ・コロナで人が少なく感じた。
- ・コロナ禍ではあったが良いまつりであった。
- ・コロナ禍での初めての開催、感染症対策を行いながらではあったが、旭町の活気を感じた。
- ・3年ぶりの開催で賑わった、楽しめた。開催できたことを嬉しく思う。
- ・悪天候が予想されたが多くの人々が来られており、地域のイベントとして重要な役割を持っていると感じた
- ・地域とのつながりは大切だと感じた。

□出展（店）に関して（屋外・屋内）

- ・雨を心配していたが天候に恵まれて何よりだった。
- ・天候を心配して販売数量を少なくしたため、1時間あまりで完売、買い求めに来たお客さんには迷惑をかけた。
- ・飲食店舗が少なく感じた。昼食がないと言うお客さんからの意見があった。
- ・飲食店舗は今後も少なくなるのではないか。
- ・高齢となり、今年の出展で最後となる。
- ・図書館イベントもチラシやポスターに入れてほしい。
- ・商品購入の行列とステージイベントの立ち見客との区別がつかないので誘導する表示等あれば良い。（誘導員・誘導表示等）
- ・体育館内で音響が流れるが音が大きくお客との会話に支障がある。
- ・展示スペースと通路がアンバランスであった。
- ・展示スペースに何も無いパネルがあるので申請をきちんとしてもらえば良い。

□その他

- ・歌手の出演時間が長すぎるとお客さんから意見があった。
- ・会場及び会場の近くに高齢者や身障者のための「思いやり駐車場」があれば良いのではないか。

《出展者以外からの意見等》

- ・歌謡ショーを2部構成にするのではなく、1部にして、もう1部は旭町内の団体等を出演してもらってはどうか。
- ・こども園、小学校、中学校（キッズダンス）の出演があるので高校生の出演もあれば良いのでは。
- ・ふる里まつりの準備（歌手リハーサル）、当日（ステージイベント）の音響がうるさい。小さくできないか。
- ・町内向けの無料送迎バスがあったがなくなったので復活してほしい。